

火災番号

様式第18号(表)

火災損害申告書(建物)

年 月 日

仙台市 消防署長 様

申告者 住 所
職 業
氏 名
電話番号

1	り災年月日	年 月 日	損害物件と 申告者の関係	所有者・管理者		
	損害物件 の所在地	仙台市 区				
2	建 築 ・ 購 入 年 月 推 定 ・ 記 録 ・ 記 憶	建 築 又 は 購 入 金 額 推 定 ・ 記 録 ・ 記 憶 ・ 不 明				
	年 月	1 m ² ・1 坪 当りの金額		総金額(土地代を除く)		
		円	円		円	
3	取 得 後 の 経 過					
	増(改)築年月	増(改)築の概要		増(改)築に 要した金額	増(改)築面積	
	年 月			円	m ²	
	年 月			円	m ²	
4	り 災 前 の 建 物 詳 細					
	構 造	屋 根	外 壁	階 数	建築面積	延べ面積
					m ²	m ²
5	建物の用途	居住世帯数		世帯	居住人員	人
	建物の損害状況(焼損・水損・爆発・その他)					
	損害箇所		面積(m ²)		見積額(円)	
6	建 物 ・ 収 容 物 以 外 の 損 害 状 況					
	損害物件	損害別	数量又は面積		取得又は建設年月	
		焼・水・爆・他			年 月	
7	火 災 保 険 の 契 約					
	保険会社	契約年月		保険金額(万円)		
		年 月		万円		
		年 月		万円		

様式第18号(裏)

火災損害申告書(建物) 記載要領

1の欄

損害物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

2の欄

- 1 建築・購入年月、金額の欄は、記録(帳簿や契約書など)によって明らかなものか、推定によるものかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の価格を除いた1㎡当り又は1坪当りのどちらかを○で囲み、金額と総金額(土地代を除く)を円単位で記入してください。

3の欄

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の増(改)築があった場合に記入してください。
- 2 増(改)築の概要の欄は、どこの部分を、増(改)築したかを記入してください。
例) 1階事務所部分を改築
例) 2階住宅を増築

4の欄

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。
例) 住宅 日本瓦 モルタル 2階建 75㎡
例) 店舗・住宅 亜鉛鉄板 石綿セメント板 3階建 135㎡
- 2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯数と人員を記入してください。

5の欄

焼損、水損、爆発、その他の別を○で囲み、時価見積額を記入してください。

6の欄

- 1 建物・収容物以外の損害状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などに損害がある場合に記入してください。
- 2 損害別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
(1) 焼: 火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど。
(2) 水: 消火するために壊れたもの、濡れたもの、汚れたものなど。
(3) 爆: 爆発により、壊れたものなど。
(4) 他: 煙により汚れたもの、運び出す時に壊れたものなど。

7の欄

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 今後の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災による罹災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 6 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

仙台市青葉消防署 022-234-1121
 仙台市宮城野消防署 022-284-9211
 仙台市若林消防署 022-282-0119

仙台市太白消防署 022-244-1119
 仙台市泉消防署 022-373-0119
 仙台市宮城消防署 022-392-8119